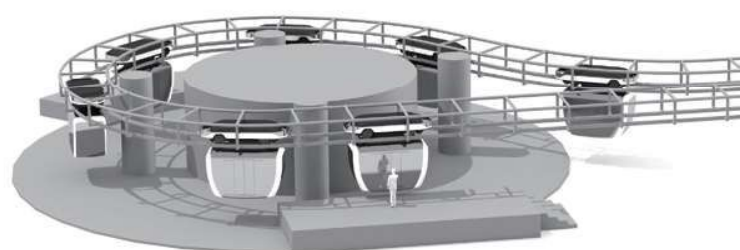
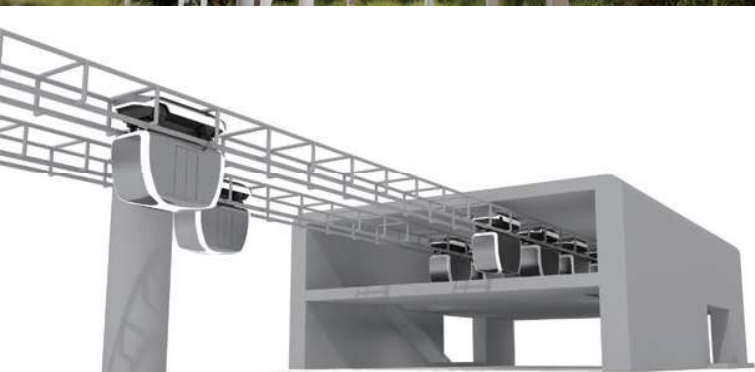




世界をよりスムーズに
全ての移動を快適に

自走式ロープウェイ
Zippar



搬器について	駆動源 モーター・バッテリー (E/Vベース)
	走行速度 最高 36km/h
	定員 12名
	最小曲線半径 R10m
	登坂勾配 10%
	輸送能力 最大3,600人/h
	運行間隔 最高 12秒毎
	運行風速 30m/秒 以下
運行について	

路線導入に向けて全国の自治体と連携しています

連携協定締結自治体

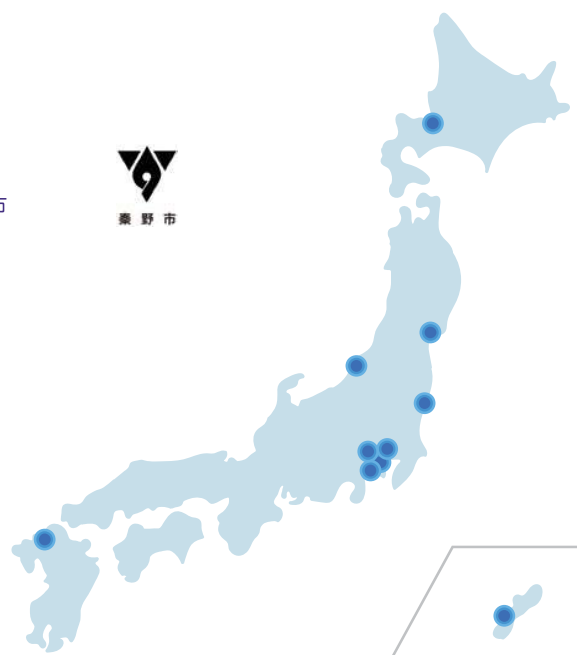


各地で調査・開発・報道されています

北海道石狩市、茨城県守谷市、新潟県新潟市、静岡県静岡市

神奈川県藤沢市、神奈川県厚木市、神奈川県三浦市

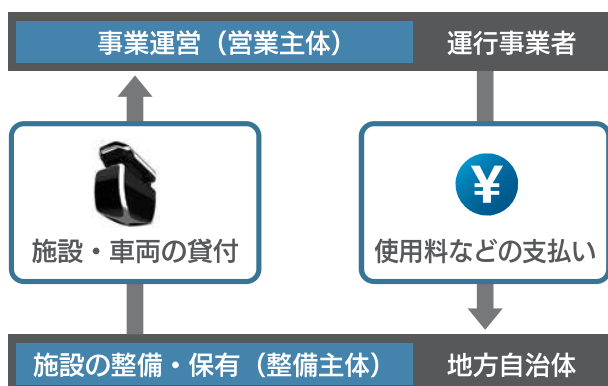
福岡県福岡市、宮城県富谷市



Zipparの運営について

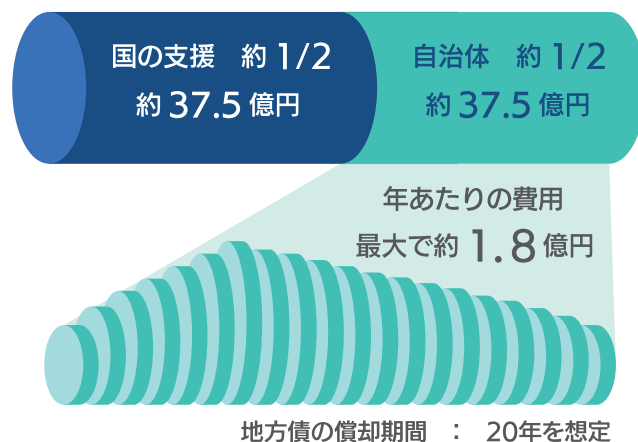
上下分離方式

上下分離方式とは、交通事業のインフラを自治体や国が負担・所有し、運行を民間企業が担う仕組みです。公共交通の維持・発展を目的に、地方交通で導入が進められています。



費用負担のイメージ

Zipparを15億円/kmで整備した場合、5kmの想定整備費用は75億円となり、その整備費用の負担シミュレーション(宇都宮LRTの事例を参照)は以下の通りです。



※Zipparが複数自治体にまたがる場合は、受益者にて費用を分担される可能性があります。

